

令和4年度 国・県に対する要望事項



令和3年5月

 能代市

当市の行政運営に対し、日ごろより格別のご配慮をいただき、厚くお礼申し上げます。また、新型コロナウイルス対策につきましては、地域への感染拡大防止にご尽力いただいていることに心から感謝申し上げます。

さて、昨年度の要望につきましては、能代港大森ふ頭用地造成事業に着手いただくなど、能代港を活用した地域振興等にお力添えいただき誠にありがとうございます。

当市では、第2次能代市総合計画におけるまちづくりの基本理念に「幸福共創」を掲げ、優れた地域資源を十分に活用し、“こころ”、“からだ”、“もの”の3つの豊かさを実感できるよう、官民一体となって各種施策を推進しているところであります。とりわけ、人口減少・少子化・高齢化に歯止めがかからない現状にあっては、若者の定住につながる産業の振興と質の高い雇用の確保が、当市の最重要課題であり、重点的かつ横断的に取り組んでいく必要があります。

この要望事項は、能代港や高速道路等の社会基盤を最大限に活かし、当市が目指す次世代エネルギーのまちづくり等と組み合わせ、新たな産業と雇用の創出につなげる上で大変重要な事項であり、これらの実現により能代が能く代わるものと確信しております。

何卒、当市の事情をご賢察いただき、令和4年度の予算編成及び今後の施策展開に取り入れてくださるようよろしくお願い申し上げます。

令和3年 5月

能代市長 齊藤 滋 宣

要 望 事 項 一 覧

1. 能代港を活用した地域振興について …… [継 続]
2. エネルギーを核としたまちづくりへの支援について …… [継 続]
3. CO2の回収・有効利用・貯留(CCUS)に係る適地調査について …… [新 規]
4. 「風の松原」等松林保全のための松くい虫対策について …… [継 続]
5. 日本海沿岸東北自動車道の早期完成について …… [継 続]
6. 県管理道路の整備促進について …… [継 続]

〔 継 続 〕

建設部 港湾空港課

産業労働部 エネルギー・資源振興課、産業集積課

能代港を活用した地域振興について

近年、洋上風力発電事業の加速化により、能代港を取り巻く状況は大きく変化しております。こうした動きに合わせ、国からは能代港地耐力強化に関する事業、県からは大森ふ頭用地造成事業を実施していただいております。同港が持つポテンシャルを最大限に発揮できる環境が整いつつあります。

日本海沿岸東北自動車道は令和5年度までの開通の見通しが示され、県北地域だけでなく、青森県、岩手県等からの物流の拡大が見込まれ、それに伴う経済活性化の可能性が高まっています。さらに、能代火力発電所3号機の運転開始により、石炭運搬大型船の入港数が増加しており、これらに対応し、船舶の航行安全、安全な荷役、安定した物流を確保するため、港内静穏度の向上及び水域施設の水深確保の必要性が増してきています。

また、能代港は北陸から北海道にわたる日本海沿岸の洋上風力発電設備建設有望地の中心に位置しており、再エネ海域利用法の促進区域である「能代市三種町及び男鹿市沖」及び促進区域になり得る有望区域として「八峰町及び能代市沖」がそれぞれ指定、選定されております。

一方、能代港は県北地域の魅力的な観光資源へのアクセスが便利であることから、クルーズ船誘致は交流人口拡大による地域の活性化に不可欠であるとの共通認識のもと、観光メニューづくりや誘致活動に地域が連携して取り組んでいるところです。

こうした中、令和2年9月には、能代港が港湾法における海洋再生可能エネルギー発電設備等拠点港湾として指定されました。能代港に洋上風力発電設備建設のための港湾インフラやメンテナンス基地機能を集中的に整備することにより、国が目指す再生可能エネルギーの主力電源化に大きく貢献し、日本全体の電力の安定供給にも資するものと考えます。

今後も本地域が一丸となって、能代港を中心とした県北地域の発展に取り組んでまいりますので、下記事項について、ご指導とお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

1. 港湾の機能強化と利便性向上

- ・防波堤整備による港内静穏度の向上
- ・岸壁の耐震化と強度の向上
- ・小型船だまり移設に向けた早期のふ頭用地整備への着手

2. 洋上風力発電の拠点化実現への支援

- ・能代港が洋上風力発電設備の建設及びメンテナンス拠点となるための港湾施設の早期完成
- ・中長期的な視点に立った風力発電設備の大型化・プロジェクトの大規模化を見越した港湾機能の強化
- ・地元企業の洋上風力発電関連分野への参画及び関連産業の集積に向けた支援

3. クルーズ船誘致のための環境整備

- ・大型クルーズ船対応岸壁の整備
- ・ウィズコロナ時代におけるクルーズ船来訪者の受入体制への支援



(能代港の港湾施設整備の様子)

〔 継 続 〕

産業労働部 エネルギー・資源振興課、産業集積課

エネルギーを核としたまちづくりへの支援について

本市は、「エネルギーのまち」を目指し、風力発電を中心とした再生可能エネルギーの導入拡大に取り組んでおります。現在、大規模な風力発電や太陽光発電設備のほか、研修施設を併設した風力発電のメンテナンス拠点が設置されるなど、関連産業の集積も進んでおります。

こうした中、日本のトップランナーを目指している洋上風力発電分野においては、秋田洋上風力発電株式会社が、能代港の港湾区域内において国内初の本格的な商用運転となる洋上風力発電の運転開始を目指し工事が開始されております。

さらに、一般海域では促進区域の指定を受けている「能代市、三種町及び男鹿市沖」で事業者公募が開始となり、促進区域になり得る有望区域として「八峰町及び能代市沖」が選定されるなど、本市周辺の洋上風力発電の動きは益々加速していくこととなります。

また、陸上風力発電では地域の農林業の振興と共生を図るため、昨年3月に「能代市農山村地域再生可能エネルギー共生協議会」を立ち上げ、関係者と協議を重ねながら、昨年度、基本計画案を取りまとめたところです。

現在、国が中心となり、脱炭素化に向けて水素サプライチェーン構築の実証を全国各地で行っており、本市ではJAXA能代ロケット実験場での液体水素に関する最先端の実験や、民間企業による再エネ由来水素の製造及び水素混合ガス利用の実証事業が継続されております。

こうした状況を踏まえ、能代市次世代エネルギービジョンに掲げた先進的なプロジェクトを実現し、本市ひいては秋田県全体の発展につなげていくため、下記事項について、ご指導とお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

1. 次世代エネルギーの先進的なまちの実現

- ・風力、水素等の次世代エネルギーがもたらす恩恵を市民が直接享受できる仕組みづくりへの支援
- ・本市周辺の洋上風力発電事業等のエネルギー産業に関わる人材育成への支援（地元高校への学科創設、高等教育機関や研究施設の誘致等）
- ・次世代エネルギーを活用したモビリティや地域防災等、各種の実証場所となり得る環境整備への支援

2. 地域をリードする産業の創出・活性化

- ・洋上風力発電関連企業とのマッチング促進や能代港周辺地域における事業用地の整備等の関連産業の集積に向けた支援
- ・再生可能エネルギーを農業等に活用した地域振興の取組への支援
- ・地域の風力発電等の電力を活用した、エネルギーコストの低減やCO₂低減に配慮した企業誘致につながる環境整備への支援
- ・地元企業の次世代エネルギー関連分野への参画への支援

【市担当部課 環境産業部 エネルギー産業政策課】

〔 新 規 〕

産業労働部 エネルギー・資源振興課、産業集積課

CO₂の回収・有効利用・貯留(CCUS)に係る適地調査について

令和2年10月に、菅総理より「2050年カーボンニュートラル、脱炭素社会の実現を目指す」ことが宣言され、その実現に向け、国では、「2050年カーボンニュートラルに伴うグリーン成長戦略」を策定しました。

温室効果ガス削減対策の推進に向け、二酸化炭素(CO₂)を回収して海底などの地下に貯留し、利用する技術「CCUS」は有効な手段のひとつとされており、平成28年度より能代市と三種町にまたがる区域でCO₂貯留適地調査が実施されております。

同区域は、これまでに蓄積された石油・天然ガスの探鉱・開発データ・実績に鑑みれば、陸域から掘削する坑井による大規模なCO₂貯留適地となる可能性が高いほか、風力発電によるCO₂フリー水素を活用したメタネーション等のカーボンリサイクルに係る実証事業の場としても条件が整っております。

また、能代市には、船舶により輸送されるCO₂を受入可能な港湾があり、港湾周辺にはカーボンリサイクル産業の集積可能な用地が存在しております。

2050年カーボンニュートラルを目指すためには、CCUSが重要な役割を果たすと考えられ、能代市と三種町にまたがる区域は、大規模貯留における先導的役割を果たし得る条件を備えております。

一方で、CCUSは技術実証まで進んでいるものの、国の支援がなければ事業化することが難しいものでありますので、能代・三種沖での大規模貯留を可能とするため、下記事項について、ご指導とお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

- ・ 本地域における調査井の早期掘削をはじめとした適地調査への支援
- ・ 今後期待されるCO₂の大規模排出源から能代港への海上輸送実現のため、大型液化CO₂輸送船の建造や受入貯蔵タンクの大規模化、液化CO₂パイプライン輸送等に係る技術開発支援
- ・ 本地域での貯留したCO₂のカーボンリサイクルに係る実証事業誘致への支援



【市担当部課 環境産業部 エネルギー産業政策課】

〔 継 続 〕

農林水産部 森林整備課

「風の松原」等松林保全のための松くい虫対策について

本市を代表する地域資源である国内最大規模の海岸砂防林「風の松原」は、強風による飛砂から街や農地を守るために、藩政時代から300年にわたり先人のたゆまぬ努力によって植栽されてきた文化遺産であるとともに、「かおり風景100選（環境省）」等の権威ある6つの100選に選ばれるなど、やすらぎの空間としても広く市民や観光客に親しまれています。

国有林、民有林を含む「風の松原」の松くい虫対策については、国・県・市が連携しながら伐倒駆除、薬剤散布、樹幹注入等の対策を講じておりましたが、中核部分の被害が拡大したことに伴い、平成17年度から国費による「松くい虫被害先端地域特別対策事業」で徹底した対策に取り組んでいただいております。

事業の継続により、本市の松くい虫被害量は平成28年度をピークに徐々に減少しておりますが、令和元年度実績では、能代山本の被害が県全体の46%を占めており、予断を許さない状況にあることから、市民の誇りであり宝である「風の松原」の保全を図るため、下記の事項について要望します。

・松くい虫被害先端地域特別対策事業の継続



（風の松原を守る市民ボランティア大会へ市民約600人が参加した清掃活動の様子）

【市担当部課 農林水産部 林業木材振興課】

〔 継 続 〕
建設部 道路課

日本海沿岸東北自動車道の早期完成について

日本海沿岸東北自動車道二ツ井白神 I C から大館能代空港 I C 間の整備については、早期に高速交通ネットワーク形成が図られるよう、平成 24 年度より事業着手された「二ツ井今泉道路」の整備促進を図り、早期の全線開通に向けて引き続き要望します。

また、洋上風力発電拠点化の整備が進められている能代港の利活用促進と県北地域の経済の更なる発展に向け、27 年度より着手された能代地区線形改良、令和 2 年度より事業化となった種梅入口交差点の立体化、今年度より事業化となった荷上場地区交差点改良について進捗を図り、道路の速達性や定時性、安全性の確保に資する整備を要望します。



【市担当部課 都市整備部 道路河川課】

〔 継 続 〕
建設部 道路課

県管理道路の整備促進について

国道101号は、能代市と八峰町、青森県を結ぶ幹線道路であり、通勤、地域間交流、物流、救命救急等を担う唯一の国道であります。竹生天神前の急カーブが円滑な通行に支障をきたしている状況となっております。地域住民の安全を確保するため、平成28年度より着手された「竹生バイパス」の整備促進を図り、早期に完成されるよう要望します。

県道西目屋二ツ井線は、能代市と藤里町を繋ぐ重要な生活道路であり、特に救急搬送路として主要な路線となっております。また、地域防災の機能強化、世界自然遺産白神山地へのアクセス向上など、地域経済の活性化を図るため「荷上場バイパス」の整備促進を図り、早期に完成されるよう要望します。

- ・ 国道101号 竹生バイパスの早期完成について
- ・ 県道西目屋二ツ井線 荷上場バイパスの早期完成について





県道西目屋
 二ツ井線